

KINOLINE

紀伊國屋書店の提供する電子情報サービスの最新情報

vol.36, no.6 (November 2015)

- 1. 世界中の地図情報・GIS データをお手元に！ EVG 社 GIS クラウドサービスのご案内**
紙の地図から GIS データへの移行が加速する中、それら地図情報の管理、運用の効率化が求められています。今回は、Web ベースの GIS 管理・運用プラットフォーム「EVGeoCloud」をご紹介します。
- 2. 19 世紀史料コレクション アーカイブーイギリスの政治と社会**
Nineteenth Century Collections Online - British Politics and Society
「長い 19 世紀」の文献から史料価値の高いものをデジタル化した Nineteenth Century Collections Online (NCCO)。12 回目の今回は「英国の政治と社会」アーカイブをご紹介します。
- 3. ProQuest の学術コンテンツが Google Scholar で検索可能に！**
Google Scholar でヒットした ProQuest コンテンツへの直接リンクを提供、エンドユーザーのさまざまなリサーチ手法をサポートします。
- 4. 【OCLC News 第 7 号】ーOCLC に関する様々な情報をお届けいたしますー**
今号では、SNS 上では「一時代の終焉」などとも言われ、世界の図書館員の問題をさらっている OCLC の「カード目録提供サービス終了」のニュースを大きく取り上げています。ベテラン図書館員の皆様には、紙の目録が活躍していた古き良き（？）時代を思い起こして頂けるかもしれません。その他、12 月開催のアジアパシフィック議会メルボルン会議についてもご案内しています。
- 5. Smithsonian Collections Online Evolution of Flight, 1784-1991 ～飛行の進化～**
世界最大の博物館・研究機関群スミソニアン学術協会が所蔵する膨大なアーカイブをデジタル化した Smithsonian Collections Online。今回は“Evolution of Flight”をご紹介します。気球や飛行船から軍事利用まで、初期から近現代までの航空史関連の資料を幅広く収録します。

KINOLINE は Web 上でも閲覧できます。

KINOLINE

検索



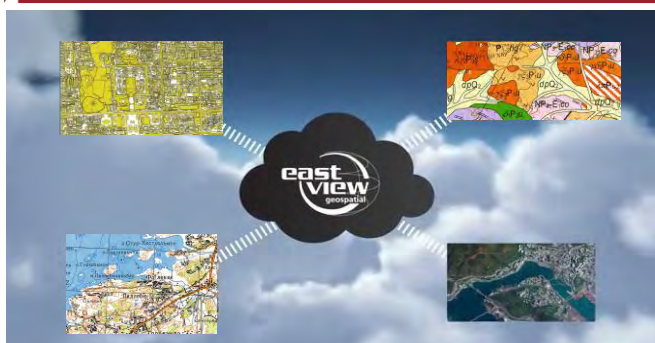


EVG 社の GIS (地図データ) クラウドサービス EVGeoCloud™

EVGeoCloud は、Web を通じて GIS データに簡単にアクセスするための、地理空間情報の統合プラットフォームです。クラウドサービスとして提供されますので専用のハードウェア等は一切不要です。

20 年以上にわたり East View Geospatial (EVG) 社は全世界の大学に各種地図、統計、GIS (地理空間情報) データを提供してきましたが、GIS データの利用については専用の GIS ソフトが必要でした。しかし、EVG の EVGeoCloud を使うことで、専用の GIS ソフトが無くとも、それらのデータに容易にアクセスできるようになります。日本でも紙の地図から GIS データへの移行が進んでいますが、電子 Book や電子 Journal と違い、GIS データには独自の管理、閲覧システムが必要です。EVGeoCloud は、その管理、閲覧システムを Web を使ったクラウドサービスとしてご提供します。

◆GIS データのホスティング◆



EVG では、これまでもテラバイト級の膨大な量の GIS データ群をホスティングしてきましたが、学内の端末から EVGeoCloud に接続することで、さらに素早く容易にご購入のデータにアクセスできるようになりました。また、EVGeoCloud には、大学が保有する各種 GIS データをホスティングする機能もありますので、EVG に限らず全ての GIS データの共通プラットフォームとしてご利用いただくことができます。さらに EVG では、お手持ちの

地図 (紙)、CD-ROM やハードディスクに収められた地図データを GIS データ化し EVGeoCloud に搭載する業務も承っております。

◆プラットフォーム概要◆

EVGeoCloud は、以下のサービス (プロトコル) をサポートしています。いずれもインターネット上で地理空間情報を送受信するための世界標準規格です。

- Web Map (ping) Service (WMS)
- Web Feature Service (WFS)
- Web Coverage Service (WCS)

インターフェースは Web ブラウザを使用しますので、専用の GIS ソフトよりも簡単に GIS データを扱うことができます。また、セキュリティを含むシステムメンテナンスも万全です。

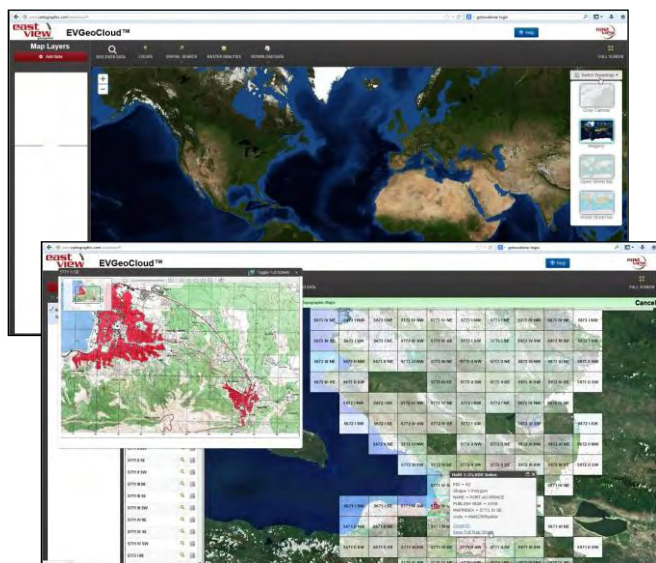


“教員、学生は、EVGeoCloud を使って詳細なベクター・データを容易に閲覧し、ダウンロードすることができます。このウェブ・サービスを導入するにあたり、図書館は、新たなハードウェア、ソフトウェア、スタッフを用意する必要は全くありませんでした。”

- Chris Kollen, Data Curation Librarian University of Arizona



◆身近な Web アクセス◆



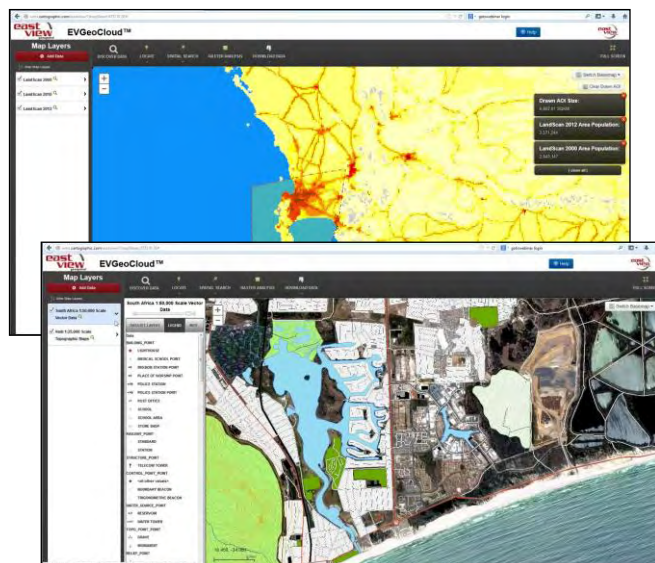
▲ 地形図(ラスター)表示例

EVGeoCloud は、Web を通じて、ただ一つのアクセスポイントから、必要とする GIS データにユーザを導きます。アクセス対象は EVG からご購入の GIS データはもちろん、すでにお手持ちの GIS データも含まれます。これは、GIS に慣れたユーザにも、不慣れたユーザにも大きなメリットをもたらします。

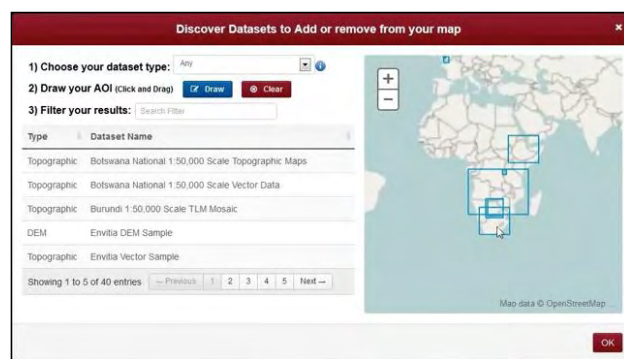
・GIS 初心者にも上級者にも対応

EVGeoCloud には、データダウンロード機能がありますので、ArcGIS や QGIS をご利用の皆様は EVGeoCloud 上で閲覧するだけでなく、ダウンロード後の当該データを、普段お使いの GIS ソフトで操作することができます。

▼ LandScan(人口)データ、都市図(ベクター)表示例



◆データセットの管理◆



EVGeoCloud には、利用可能な GIS データコレクションを管理する機能があります。専用の管理ページにログインし、データセットを登録(削除)し、総覧することができます。

◆その他の仕様◆



認証方法: IP 認証

対応データ: 地図、チャート(海、空)、区画図、高さデータ、
(航空、衛星)画像など

※ 無料トライアル(サンプルデータ搭載済み)もお受けしております。

関連情報: 英語版カタログ

<http://www.eastview.com/files/EVGeoCloud.pdf>

概要紹介動画

<https://www.youtube.com/watch?v=VC3yQa-OI0k>

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。
お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

19 世紀史料コレクション アーカイブーイギリスの政治と社会 Nineteenth Century Collections Online - British Politics and Society

センゲージ ラーニング株式会社

世界有数の図書館、公文書館等が所蔵する 19 世紀の貴重な資料から史料価値の高いものをデジタル化して提供するデータベース、Nineteenth Century Collections Online (NCCO)。今回は、” British Politics and Society ”を取り上げます。



◆19 世紀イギリスの自由主義改革と政治運動、社会運動の全貌に迫る◆

19 世紀前半、イギリスでは、選挙法改正による中産階級への選挙権拡大、穀物法や航海条例の廃止等、一連の自由主義改革が実施されました。しかし、労働者階級への選挙権の拡大は世紀後半まで待たねばならず、チャーチスト運動に象徴される急進的な政治運動や社会運動が全国的な広がりを見せました。その過程で、児童や女性の労働時間や夜間労働を制限する社会立法が議会を通過し、10 時間労働が法的に整備されました。

本アーカイブは、自由主義改革や政治・社会運動の舞台回しをした政治家、政府役人、社会改革家、労働者、社会主義者らの書簡、日記、演説等の個人文書から、政府文書、モノグラフ、新聞、雑誌までを包括的に収録し、19 世紀イギリスの自由主義改革と政治・社会運動の全貌に迫ります。

◆政治家の文書と運動を取り締まる内務省文書◆

急進主義運動の指導者と交流を持ったチャールズ・フォックス、穀物法廃止運動を含む政治・社会運動が活発だった 1830-40 年代に政権を率いたロバート・ピール、上流階級出身ながら児童の労働時間を制限する法案を提出し、詩人バイロンの盟友でもあったジョン・ホブハウスといった政治家の文書を収録します。また、政治・社会運動の取り締まりに当たった内務省に送られてきた、イギリス各地の集会や暴動に関する膨大な報告も収録しています。

これらの文書には、支配階層が労働者たちの運動をどのような視点で見いていたのかが克明に記録されています。

◆19 世紀イギリスの労働運動史と社会運動史の宝庫◆

本アーカイブを構成する資料群の中でも、都市労働者階級と急進主義政治運動の主役であった労働者たちが残した資料は圧巻です。産業革命を通じて都市労働者は増加の一途を辿りました。劣悪な労働環境と貧窮の中、労働者たちは、政治への発言権と豊かさを求め、改革運動を実施します。労働者が発行した新聞や定期刊行物、自伝、労働組合史資料、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけての社会主義的な文献など、当事者の手による膨大な資料群は、19 世紀イギリス政治・社会運動史の宝庫です。

◆都市化と大衆意識◆

19 世紀のイギリスでは、世界に先駆けて工業化と都市化が実現する一方で、公衆衛生、貧困、住宅、犯罪など、都市特有の問題が生まれます。本アーカイブには、1888 年にロンドンのイーストエンドで発生した切り裂きジャック事件発生後、ロンドン警視庁に送られた膨大な数の一般人の投書が収録されており、これらの投書から、当時の一般大衆の意識を垣間見ることができます。

【収録コレクション】

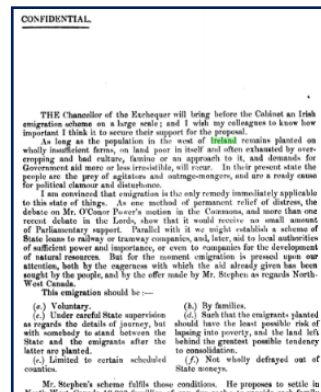
◆19世紀イギリス政治史料～◆

■British Cabinet Papers, 1880-1916(イギリス内閣文書)

- 年代:1880年-1916年
- 原本所蔵機関:英国国立公文書館

イギリスの最初の内閣は18世紀に誕生しました。当初、独立の法的権力を持たず、その存在を根拠づける法令もなく、時の首相の裁量のままに運営されていました。その歴史の大半において、議事録が残されることはありませんでした。この状況が変わるのは20世紀初頭です。第一次世界大戦時に迅速な意思決定を行う必要に迫られ、1916年に内閣官房が設置され、その後内閣の業務範囲が拡大し、記録が残されるようになります。

しかし、それ以前にも、内閣を構成する各大臣が用意した公式文書は内閣に配布されていました。これらの文書の完全な記録は残っていませんが、様々な省庁が文書の写真複製を保有していました。本コレクションは1880年から1916年までの、写真複製された文書を集めたものです。国内外を問わず、この時代の内閣に関心を寄せてきた様々な問題に関わる文書が収録されています。

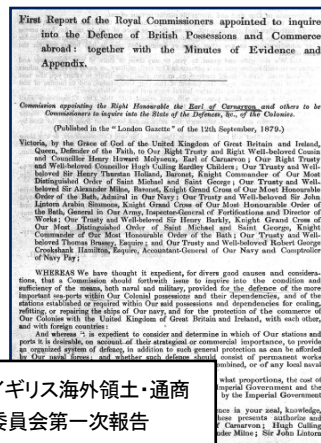


グラッドストーン内閣に提出された大蔵大臣による
アイルランド対外移民に関する提案
(1883年5月4日)

■Colonial Defence Commission under Lord Carnarvon(カーナーヴォン卿下の植民地防衛委員会)

- 年代:1881年-1882年

19世紀後半のイギリスの政治家、第4代カーナーヴォン伯ヘンリー・ハーバート(Henry Howard Molyneux Herbert)は、植民地大臣を2度務め、カナダ自治領形成の基盤となる1867年のイギリス北アメリカ法の通過に大きな役割を果たしました。1879年から1882年まで王立イギリス海外領土・通商防衛委員会(カーナーヴォン委員会)の委員長を務め、帝国におけるイギリスの利害を監督し、1880年代にはアイルランド総督の地位に着きます。本コレクションは、第一次植民地防衛委員会、第二次植民地防衛委員会、カーナーヴォン委員会、海外防衛員会の記録(覚書、報告書、書簡)といった未公開の文書を収録します。



王立イギリス海外領土・通商
防衛委員会第一次報告

■Papers of Great British Statesmen and Politicians, Series One:

The Papers and Correspondence of Charles James Fox, 1749-1806

(イギリス政治家文書シリーズ、シリーズ1:チャールズ・ジェームズ・フォックスの文書と書簡、1749-1806)

- 年代:1749年-1806年
- 原本所蔵機関:英国図書館

■Papers of the Prime Ministers of Great Britain, Series Two:

Sir Robert Peel (Prime Minister, 1834-5, 1841-5 and 1845-6)

(イギリス首相文書シリーズ、シリーズ2:サー・ロバート・ピール)

- 年代:1834年-1846年
- 原本所蔵機関:英国図書館

■Radicals and Reformers in Britain: The Papers of John Cam Hobhouse, 1809-1869

(イギリスにおける急進主義者と改革派: ジョン・カム・ホブハウス文書)

- ・ 年代: 1809 年-1869 年
- ・ 原本所蔵機関: 英国図書館

◆労働運動・社会運動史料◆

■British Labour History Ephemera (イギリス労働史エフェメラコレクション)

- ・ 年代: 1880 年-1900 年

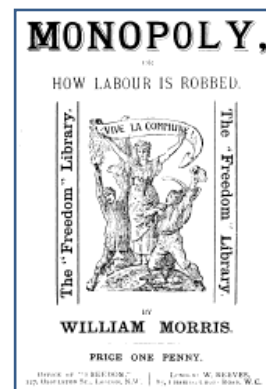
イギリスの 19 世紀末は、労働者の利害を代表する政党の結成に向けた動きが活発に行われた、労働運動史上、非常に重要な時代です。労働者は、当初期待を寄せていた自由党に自分たちの利害を代弁させることはできないと悟り、1893 年に独立労働党を創設、1900 年には労働組合会議 (Trade Union Congress) と合流する形で労働代表者会議 (Labour Representation Committee) を結成、6 年後には労働党となります。本コレクションは、これらの労働運動の中で発行された、エフェメラと呼ばれる短命な印刷物、定期刊行物、書籍を収録します。

物議を醸したジェームズ・リーサム (James Leatham) の「イエスは社会主義者か」、無署名の「無政府主義とは何か」、ダーウィンとマルクスを取り上げたエドワード・エイヴリング (Edward Aveling) の著作、「ローマ教皇の社会主義」を含むロバート・ブラッチフォード (Robert Blatchford) の著述、高齢者のための年金の必要を論じるチャールズ・ブース (Charles Booth) の著作など、収録範囲は多岐に亘ります。その他、シドニー・ウェブ、ベアトリス・ウェブ、ヘンリー・ハイド・チャンピオン、J. モリソン・デイヴィッドソン、ヘンリー・ハインドマン、カール・カウツキー、ピョートル・クロボトキン、ジョン・ラスキン、アレクサンダー・トンプソン、アーノルド・トインビーなど、著名な社会主義者が名前を連ねます。19 世紀末の社会主義の発展をカバーし、ストライキ、8 時間労働、職場における女性の役割向上を巡る労働運動の闘いを記録しています。

282 点のモノグラフの他、マニュスクリプト、定期刊行物を収録します。

<収録定期刊行物>

- | | | |
|------------------------------------|---|---------------------------|
| ・ The Anarchist Labour Leaf | ・ L. P. News | ・ Rochdale Labour News |
| ・ The Anti-Sweater | ・ Justice | ・ The Rural World |
| ・ The Clarion | ・ The Labor Leader | ・ The Social-Democrat |
| ・ The Commonweal | ・ The Labour Prophet | ・ To-Day |
| ・ The Commonwealth | ・ The Labour Tribune | ・ The Torch |
| ・ The Democrat | ・ Land & Labor | ・ The Trade Unionist |
| ・ The Economic Review | ・ Liberty | ・ War Against War! |
| ・ The English Labourers' Chronicle | ・ The National Agricultural Union Cable | ・ The Workman's Times |
| ・ Free Russia | ・ The New Age | ・ Yorkshire Factory Times |
| ・ Freedom | ・ Progress | |



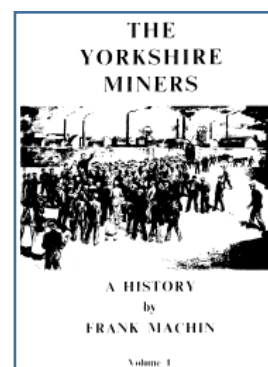
■British Trade Union History Collection (イギリス労働組合史コレクション)

- 年代:1800年-1900年

本コレクションは、炭鉱労働者の指導者ロバート・スマイリー(Robert Smillie)の回想録、史上初の労働党政権の首班ラムゼイ・マクドナルドにより編纂された社会学のモノグラフなど、19世紀のイギリス労働組合の歴史に関する書籍 356 点を収録します。

<収録資料例>

- ・ ジョン・トマス・マーフィー『大ストライキの政治的意味』
- ・ G.G.H. コールほか『鉄道の労働組合主義:その歴史と問題』
- ・ G.D.C. コール『19世紀第三四半期の労働組合運動に対する若干の注釈』
- ・ G.D.H. コール『ジョン・バーンズ』
- ・ マーガレット・コール『労働運動の形成者たち』
- ・ ジョン・ハモンド、バーバラ・ハモンド『熟練労働者 1760-1832』
- ・ メアリー・アグネス・ハミルトン『メアリー・マッカーサー:自伝的素描』
- ・ メアリー・アグネス・ハミルトン『アーサー・ヘンダーソン伝記』
- ・ フレデリック・ハリソン『自伝的回想』
- ・ ウィリアム・スタンリー・ジェボンズ『労働との関係における国家』
- ・ ジョン・ヘンリー・グリーンウッド『労働組合運動の理論と実践』
- ・ シドニー・ウェブ『ダーラム鉱山労働者の物語』
- ・ シドニー・ウェブ『労働組合の状態の回復』
- ・ シドニー・ウェブ、ベアトリス・ウェブ『産業民主制』
- ・ アーサー・ウィルフレッド・ハンフリー『ロバート・アップルガース:労働組合運動家、教育者、改革家』
- ・ ロゾフスキー『マルクスと労働組合』
- ・ ベン・ティレット『ロンドン輸送労働者のストライキの歴史』
- ・ アラン・ブロック『アーネスト・ベヴィンの生涯と時代』
- ・ アーサー・ヘンダーソン『労働組合と法』
- ・ ジョージ・ニコル・バーンズ『作業場から戦時内閣へ』
- ・ リチャード・ヘンリー・トーニー『1909年産業委員会法の下での仕立産業における最低賃金の確立』

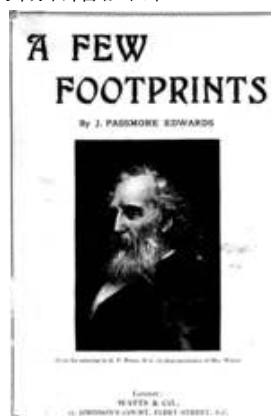


■People's History: Working Class Autobiographies (人民の歴史:労働者階級自伝コレクション)

- 年代:1792年-1920年
- 原本所蔵機関:英国図書館

19世紀のイギリスの労働者によって書かれた書物には、自伝が相当数含まれています。これらは読み書き能力の向上の賜物であり、労働者の生活と思想を後世に伝えています。本コレクションは、これらの自伝を学問的に検討した総合的な研究書、ジョン・バーネット、デヴィッド・ヴィンセント、デヴィッド・メイオールの『労働者階級の自伝:注釈付・批判的書誌(The Autobiography of the Working

Class: An Annotated, Critical Bibliography)』に依拠し、蒐集された 174 篇の自伝を収録します。文体、分量、内容、記述法、いずれも様々で、教育、児童期、労働の実態、多様な職種、チャーチスト、ユートピア社会主義、ラダイト、労働組合運動に至る急進的政治思想の起源、軍隊での経験、自己啓発や勉学の試み、犯罪者や受刑者の体験など、労働者階級の生活と体験を鮮明に描いています。



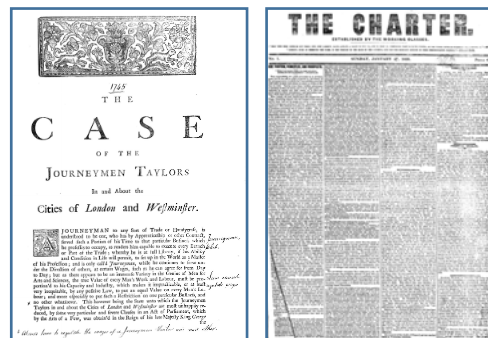
■Radical Politics and the Working Man in England(イングランドにおける急進政治と労働者)

- 年代:1770 年-1854 年
- 原本所蔵機関:英国図書館

英国図書館が所蔵するフランシス・ブレイスコレクションは、19 世紀イギリスにおける政治・社会運動関係資料屈指のコレクションです。1770 年代から 1850 年代にかけての社会、労働、政治、経済に関するビラ、新聞記事の切り抜き、多くのエフェメラを収録します。

皮ズボン製造の徒弟として働き始めたブレイスは、1793 年のストライキに参加、後にロンドン通信協会の議長を務めます。団結禁止法の撤廃運動に従事し、ロンドン労働者協会(London Working Men's Association)の創立に関わり、チャーチスト運動においては人民憲章の起草に尽力しました。暴力の使用をめぐる他の指導者と対立し、運動から距離を置くようになりますが、1854 年に逝去するまで穏健な改革運動の指導者として社会運動史の一時代を築きました。

ブレイスは徒弟時代を経て、ロンドンのチャリングクロス街に仕立屋を開業、改革運動に従事する傍、政治改革に関する書籍、雑誌、パンフレット、ビラ、新聞記事の切り抜きを蒐集しました。その中には、"The Anti-Corn Law Circular"や"The Anti-Bread-Tax Circular"のようなマンチェスターで発行された新聞、非合法の無印紙新聞、ロンドン通信協会関係の資料のような貴重な資料も含まれています。



■Rare Radical and Labour Periodicals of Great Britain(イギリス急進運動並びに労働運動関係稀少定期刊行物集成)

- 年代:1800 年-1933 年
- 原本所蔵機関:英国図書館

本コレクションは、『ウォーウィック版 1790 年から 1970 年までのイギリス労働関係定期刊行物ガイド(The Warwick Guide to British Labour Periodicals, 1790-1970)』に基づく、100 を超える定期刊行物を収録します。いずれも稀少で、入手が極めて困難なものばかりです。政党と社会運動が活況を呈し、急進主義が伸長した時代におけるチャーチズム、社会主義、労働組合主義、サンディカリズム、アナーキズム、平和主義など、社会運動諸派の運動の全貌に迫ります。

<収録定期刊行物>

- | | |
|---|---|
| • All Power | • Commonwealth |
| • The Anarchist | • The County Derry Liberal |
| • The Anarchist Communist and Revolutionary | • The Deadly Parallel |
| • The Artizans' News and Temperance Reporter | • The Democrat |
| • The British Citizen | • The Democrat & Labour Advocate |
| • The British Citizen and Empire Worker | • The Destructive, and Poor Man's Conservative |
| • The Briton | • Dewsbury Social-Democrat |
| • Bronterre's National Reformer, in Government, Law, Property, Religion, and Morals | • Douglas Jerrold's Weekly Newspaper |
| • Brotherhood | • East End Worker |
| • The Building Worker | • The Eastern Weekly Leader |
| • The Bull's Eye | • The English Chartist Circular |
| • The Cabinet Newspaper | • The English Leader |
| • The Cap of Liberty | • The English Republic |
| • The Champion | • The Evening Herald |
| • The Christian Social Economist | • The Fiery Cross |
| • The Clear Light | • Free Exchange |
| • Cleave's Weekly Police Gazette | • The Free Labour Gazette |
| • Cobbett's Evening Post | • The Free Oxford |
| • Cobbett's Magazine | • The Freethinker's Magazine and Review of Theology, Politics, and Literature |
| • The Common Good | • Freiheit (Freedom) |
| • Common Sense for People with Brains and Hearts | • The Gadfly |
| | • Hammersmith Socialist Record |

- The Herald of Anarchy
- Home Links
- The Independent
- The Investigator: A Journal of Secularism
- The Isis. A London Weekly Publication
- The Journal of the WorkingClasses
- L'Homme
- The Labour Defender
- The Labour Journal
- The Labour League Examiner
- Labour Record
- The Labour Union Journal
- The Labour's Advocate; and Northern Weekly Advertiser
- The Labourers' Herald
- Lansbury's Labour Weekly
- Laughter Grim and Gay
- The Leader
- The Leaflet Newspaper
- The Leicestershire Movement; Voices from the Frame and the Factory, the Field and the Rail, etc.
- The Liberal Labour Journal
- Liberty
- The Link
- The London News
- The Londoner
- Louis Blanc's Monthly Review: The New World
- The Man. A Rational Advocate
- The Manchester Herald
- The Medusa; or, Penny Politician
- The Midland Workman and General Advertiser
- The Miners' Advocate and Record
- Miners' Weekly News
- The Morning Star
- The Morning Star, or Herald of Progression
- The Morning Star, or, Phalansterian Gazette
- National Home Reading Union. Monthly Journal. Artizans' Section
- No More War
- The Norfolk Yeoman's Gazette and Eastern Advertiser; for the Counties of Norfolk, Suffolk, Essex, Cambridge and Herts
- North of England People's Paper
- The Odd Fellow
- Out of Work
- The Patriot
- A Penny Paper for the People
- The People
- The People
- The People's Advocate
- The People's Messenger
- The People's Newspaper
- The People's Party
- The People's Police Gazette
- The People's Review
- The Phoenix; or, The Christian Advocate of Equal Knowledge
- The Pioneer
- The Pioneer; and Weekly Record of Movements
- Police & Public
- The Political Investigator
- The Political Unionist
- Politics for the People
- The Precursor of Unity
- Profit-Sharing and Co-Partnership
- The Progressive Review
- The Promethean
- The Prompter
- The Prophet
- The Radical
- The Radical Leader
- The Radical Reformer
- The Radical Register, and Liberal Gazette
- The Radical Times
- The Red Rag
- Regenerator, or Guide to Happiness
- The Republican
- The Republican: A Monthly Advocate and Record of Republican and Democratic Principles and Movements
- The Revolutionary Review
- Rich and Poor
- Robert Owen's Journal
- Robert Owen's Millennial Gazette
- Satire
- The Schoolmaster, and Edinburgh Weekly Magazine
- The Social Reformer
- The Socialist
- The South-Eastern Progressive and Labour News
- South Wales Sentinel and Labour News
- The Spade and Whip, and Bucks Weekly Times
- The Straight Left
- The Sun
- Sword and Shield
- The Tailors' Record
- The Theological Comet; or, Free-Thinking Englishman
- The Tichborne News and Anti-
Oppression Journal
- The Trade Unionist
- The Trades Chronicle
- The Unemployed News
- The Unemployed Worker
- United Labour
- The Voice of the People
- The Walthamstow Democrat
- The Ware Patriot
- The Weekly Herald
- The Weekly Telegraph
- Weekly Times
- The Weekly Tribune
- The Weekly True Sun
- The White Hat
- The Worker
- The Workers' Cry and Advocate of the Claims of the Labor Army
- Workers Illustrated News
- Workers' International Pictorial
- The Working Man's Friend; and Political Magazine
- The Yorkshire Tribune

■Civil Disturbance, Chartism and Riots in Nineteenth Century England

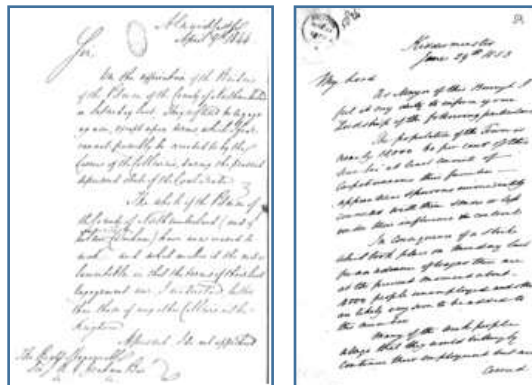
(19 世紀イギリスにおける騒擾、チャーチスト運動、暴動)

- ・ 年代:1841 年-1876 年
- ・ 原本所蔵機関:英国国立公文書館

本コレクションは、イギリス内務省文書・登録文書から 19 世紀イギリスの騒擾、チャーチスト運動、暴動に関するものを選択的に収録したものです。文書の大半はイングランドとウェールズのものですが、スコットランドとアイルランドのものも若干数含まれます。

本コレクションが対象とする時代は、労働組合、ストライキ、プロテスタントとカトリック間の緊張、第二次選挙制度改革で特徴付けられ、チャーチスト運動の最盛期も含まれます。

本コレクションには、集会、ストライキ、政治活動に関する報告の他、労働組合の結成の動きに対する政府の対応も記録されており、中でもチャーチスト、労働組合など、改革を求める各種団体が残した文書は圧巻です。活動の実態を伝える記録として治安判事や地方の名士から内務長官に送られた、ビラやポスターなどのプロパガンダ文書も収録しています。



■Public Order, Discontent, and Protest in Nineteenth Century England, 1820–1850

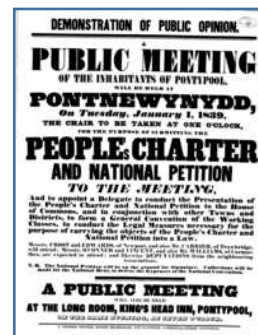
(19 世紀イギリスにおける公共秩序、不満、反抗)

- ・ 年代:1820 年-1850 年
- ・ 原本所蔵機関:英国国立公文書館

1820 年から 1850 年にかけて、地方の市長、市参事会員、名士、名望家などから内務省に送られた労働運動、民衆騒擾、暴動に関する書簡、覚書、報告を収録します。この時代は、第一次選挙法改正(1832 年)、新救貧法(1834 年)、地方自治法(1835 年)等の一連の政治行政改革が実現し、改革の時代と呼ばれます。一方で、労働組合運動、スウィング暴動その他の民衆騒擾、反救貧法運動、チャーチスト運動など、改革の恩恵を享受することができなかった労働者階級による政治運動が高揚した時代でもあります。

文書の編集方針は時代により異なり、1820 年代は年代別に編纂されていましたが、1830 年になると、労働運動や民衆騒擾事件の増加に伴い、内務省に送られる報告の数も増え、文書は地域別に編集されるようになりました。1839 年になると、州の下位の所在地名で分類されるようになります。

なお、内務省に送られたその後の時代の同種の報告は”Civil Disturbance, Chartism and Riots in Nineteenth Century England”に収録されています。



■内務省文書シリーズ

- ・ Home Office: Disturbances Entry Books
- ・ Home Office: Domestic Correspondence from 1773 to 1861
- ・ Home Office: Domestic Entry Books
- ・ Home Office Papers and Records
- ・ Home Office: Post Office Correspondence
- ・ Home Office: Registered Papers

■Hue and Cry and Police Gazette

- ・ 年代:1828 年-1845 年
- ・ 原本所蔵機関:英国国立公文書館

■Ordnance Surveyors' Drawings, 1789-1840 (陸地測量部作成地形図集成)

- ・ 年代:1789年-1840年
- ・ 原本所蔵機関:英国図書館

1791年に陸地測量部が創設されるまで、イギリスには統一的な地形図作成部門はなく、断片的で計画性のない地形図作成業務が行われていました。軍備と海岸防衛を担う軍備局の下に陸地測量部が創設されたのは、スコットランドの陸軍技師で、スコットランド高地地方の測量を行なったウィリアム・ロイ(William Roy)の仕事に触発されたためと言われています。陸地測量部の詳細な地図は、外国の侵攻に対する防衛のために不可欠とされただけでなく、民間からもその価値を認められていました。



英国図書館地図コレクションを原資料とする本コレクションは、歴史的な地形図情報の宝庫です。最初の測量で作成された地図は、一般囲い込み法による土地利用と土地保有の変化が起こる前の唯一の包括的な記録です。1805年まで、地図は1マイルを3インチから6インチに縮尺することが一般的で、とりわけ、軍事的に重要な南西部の海岸の測量についてはこの縮尺が使われていました。その後の地図は、一般的に1マイル分2インチの縮尺で作成されるようになりました。これらの測量の結果作成された地図が出版されたのは1873年以降で、1マイル分1インチの縮尺で作成されたものだったため、測量時に計測された土地の利用や地形に関する多くの特徴が失われました。したがって、19世紀前半のイングランドとウェールズの地形を正確に再現したものとしては、測量時の地図のみです。歴史地理学における地形、運河、交通網の発展の分析、地図上の囲い込みの印や土地の境界線や土地利用の印から土地利用形態の転換を読み取る経済史の観点、社会史の観点から検証する産業革命の影響、そのほか地方史、軍事史など、様々な学問分野で活用されることが期待できます。

■The Oxford Movement: Tractarian Pamphlets at Pusey House: The Halifax and Church Sub-Collections

(オックスフォード運動:ピューズイー・ハウスのオックスフォード運動パンフレット:ハリファックスアンドチャーチ サブコレクション)

- ・ 年代:1830年-1890年
- ・ 原本所蔵機関:Pusey House Library

<収録タイトル>

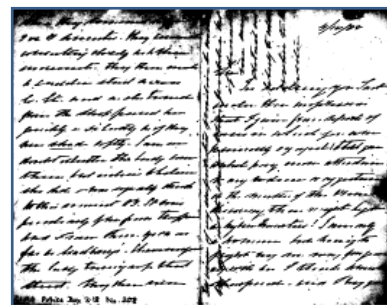
- | | |
|--|--|
| ・ Association Catholique Pour La Réunion de L'Église Anglicane | ・ La Correspondance Catholique |
| ・ Bulletin Critique | ・ Monthly Notices of the Royal Astronomical Society |
| ・ The Christian Observer | ・ Monthly Paper of Church Information |
| ・ The Christian Remembrancer | ・ The Nation |
| ・ The Church Congress Meetings at Barrow-in-Furness | ・ The National Society for Promoting the Education of the Poor |
| ・ The Church Union Gazette | ・ The Occasional Paper of the Eastern Church Association |
| ・ The Clergyman's Magazine | ・ Preaching for the Million. The Preacher |
| ・ The Ecclesiologist | ・ The Protestant Times |
| ・ Fraser's Magazine | ・ Royal Institution of Great Britain |
| ・ The History of the Word 'Mind' | ・ Tracts for the Times |
| ・ Journal of the Sixth Annual Convocation of the Clergy and Laity of the Missionary District of Colorado & Wyoming | ・ The Union Review |
| ・ L'Union Chrétienne Revue Orthodoxe | ・ The University Pulpit |

■The Whitechapel Murders Papers: Letters Relating to the "Jack the Ripper" Killings

(ホワイトチャペル殺人事件文書:切り裂きジャック連続殺人事件関係書簡集)

- ・ 年代:1888年-1889年
- ・ 原本所蔵機関:London Metropolitan Archive

1888年8月から11月にかけて5人の女性が殺害された切り裂きジャック事件は、史上最も有名な未解決の殺人事件であり、多くの小説や映画に題材を提供してきました。この事件は大衆の異様な関心を引き起こし、メディアや噂話を通じて真犯人に関する夥しい数の憶測がとびかいました。真犯人は今も確定していません。本コレクションに収録される文書は、ロンドン・シティの検死官による被害者の検死の記録、一般市民から警察への投書、新聞記事など、1888年の事件直後から翌1889年までのもので、投書の中には偽名のものや、「切り裂きジャック」名のものも含まれています。収録文書の大半はロンドンのものですが、中にはドイツやアメリカやオーストラリアのものも含まれています。これらの文書は切り裂きジャック事件の背景資料として、事件が発生した社会的コンテクストと警察の捜査環境を明らかにし、メディアを通じて犯罪や犯人のイメージが大衆レベルで拡大する、今日でもみられる事象を見て取ることができます。



■Diaries of Sir Frederic Madden (サー・フレデリック・マッデン日記)

- ・ 年代:1801年-1873年
- ・ 原本所蔵機関:オックスフォード大学ボードリアン図書館

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヵ月の無料トライアルを受け付けております。掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課（電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp）までお願い致します。お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

ProQuest の学術コンテンツが Google Scholar で検索可能に！

Google Scholar でヒットした ProQuest コンテンツへの直接リンクを提供
エンドユーザーのさまざまなリサーチ手法をサポートします。

2015 年後半より、Google Scholar 上で誰でも ProQuest のコンテンツの書誌データ*が検索できるようになりました。さらに、貴機関で契約しているコンテンツであれば、Google Scholar からワンクリックで ProQuest データベースに移動し、全文情報を閲覧できます。

* Google Scholar で書誌を閲覧できるのは、一部のコンテンツに限られます。

https://scholar.google.co.jp で検索

**ProQuest が Google に提供する
書誌データがヒット**

**機関契約しているコンテンツは、
ワンクリックで全文を表示**

**契約していないコンテンツは、
メッセージが表示される**

自動的にリンクが認証されます。
図書館で特別に必要な作業はありません。

質の高いコンテンツのみならず、エンドユーザーがコンテンツを発見しやすいということも、今日の電子資料にとっての重要な条件です。Google Scholar は研究以外にもさまざまな調査のスタート地点としてすでに広く普及していますが、このたびの Google と ProQuest の提携により、Google Scholar 利用者がシームレスに ProQuest のコンテンツを発見・利用できるようになりました。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

商品情報をはじめ、OCLC に関する様々な情報をご案内致します。

●Topics●

OCLC のカード目録作成サービスが提供終了ー The end of Library Catalogs

2015 年 10 月 1 日 米国 オハイオ州ダブリンーOCLC はこの日、最後のカードを印刷し、44 年間続けてきたカード目録提供サービスに正式に幕を引いた。カード目録は数世代にわたり情報検索者の頼れる情報源として活躍してきたが、今、人々はコンピュータ上の目録やオンラインの検索エンジンを使って世界中の図書館の所蔵資料にアクセスしている。ここ数十年で図書館蔵書目録のオンライン化が進んだ結果、当サービスの利用は右肩下がりとなっていた。

「カード目録は 100 年以上の間、図書館という物理的な空間においてその蔵書を発見しやすくするために役立ってきました」OCLC 代表取締役兼 CEO Skip Prichard 氏は語る。「今日、図書館は資料の所在に関係なく、これを電子的な形で利用者へ提供しています。図書館資料はオンラインで、いつもの検索エンジンを使って探せるようになりました。何千という図書館が、高速ネットワークを通して国際的に相互連携しており、多くは自分たちのデジタルコレクションを世界中の読者や研究者が利用できるよう公開しています」

OCLC は 1971 年に世界初のオンライン共同カタログシステムを公開。そののち数十年間にわたり、コンピュータネットワークを通して数千の図書館の目録をひとつのデータベース（現在の WorldCat）に統合してきた。これにより、図書館は労力をシェアしながらカタログ業務を行うだけでなく、他館の所蔵資料の情報をネットワーク上で共有することも可能となった。また同 1971 年、図書館が発注を出すと、自館用にカスタマイズされたカード目録がそのままファイリング可能な状態で納品される「カード目録自動作成サービス」も開始された。当サービスは 1985 年のピークまで伸び続け、この年 OCLC は 1 億 3,100 万枚ものカード目録を印刷した。当時は毎週重さにして 8 トン、4,000 袋を出荷していたという。その後、図書館が続々と電子目録へ切り替えていくにつれて利用は減少。OCLC が 1971 年から今日まで印刷してきたカード目録は、通算で 19 億枚以上にのぼる。



現在、ほとんどすべての図書館は蔵書目録としてローカル図書館業務システム (ILS) またはクラウド型図書館管理システムの一部として提供される OPAC を利用している。サービス最終日に印刷されたカード目録の発注者の一人、米国ニューヨーク州ブロンクスビルにある Concordia College Library の技術サービス課長 Nevine Haider 氏はこう語った。「私たちも既に新たな世界に飛び込む準備はできています。数年前からオンラインで蔵書検索できる環境は整っており、紙の目録カードはバックアップとして使っていました。これを機に、新たな運用を開始したいと考えています」OCLC の WorldCat は、世界の図書館の蔵書目録の集合体と言える。WorldCat によって、図書館利用者と電子書籍、契約データベース、オンラインジャーナル、デジタル

コレクション等を含む何億という電子資料とをリンクで簡単に結びつけることも可能となる。図書館や利用者のニーズが拡大していく中で、図書館が利用者の期待に確実に応えられるよう、これまでになかったタイプの図書館データも収集、管理、共有すべく、OCLC は図書館と共に取り組みを続けていく。

「大半の図書館においては、何年も前にカード目録はその働きを終えています」Prichard 氏は言う。「本日、私たちが最後のカード目録を印刷したことは、非常に象徴的な出来事です。一方で、カード目録が図書館やその利用者のために数世代にわたって貢献してきたこと、またそれらが図書館や情報科学の継続的進化の過程における重要な 1 ステップであったということは、注目に値する歴史的事実だとも思っています」

●イベント●

OCLC アジア・パシフィック地域議会会議開催決定！

OCLC アジアパシフィック地域議会会議が 12 月 3 日（木）、4 日（金）に豪州メルボルンで開催されます。毎年

開催国を移して行われる同会議は今年で 7 回目を数え、OCLC の幹部メンバーやアジアパシフィック地区の図書館関係者が一堂に会して交流や情報交換を行う場として定着してまいりました。特に今回の会議は、現在 OCLC が大きな変革期にある中で、その様々な改革内容や今後の計画、またアジアパシフィック地区への関わりについて発表される予定です。世界の図書館や OCLC との関わりについて考えて頂く契機としても、是非たくさんの日本の図書館関係者の皆様にご参加頂ければ幸いです。参加のお申込みや宿泊のお手配は、[こちらのページ](#)から行えます。



●今号の数字●



OCLC データセンターの数...

6

世界規模、あるいはウェブスケールのサービスレベルを維持しながら、ローカルとグローバル両方のシステムを安定的に運用していくために、OCLC は世界各地にデータセンターを設置しています。現在、米国内に 2 か所ある他、カナダのトロント、イギリスのロンドン、オランダのライデン、そしてオーストラリアのシドニーと、全部で 6 つの拠点があります。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み・お問い合わせは…

株式会社紀伊國屋書店 学術情報商品部 OCLC センター [<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/>]

電話:03-6910-0516 ファクス:03-6420-1359 e-mail:oclc@kinokuniya.co.jp までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

Smithsonian Collections Online

Evolution of Flight

スミソニアン学術協会資料コレクションー飛行の進化

センゲージラーニング株式会社

スミソニアン学術協会の所蔵資料を包括的にデジタル化して提供するデータベース、“Smithsonian Collections Online”。“Air & Space and Smithsonian Magazine”、“World’s Fairs and Expositions: Visions of Tomorrow”、“Trade Literature And Merchandizing of Industry”に続き、“Evolution of Flight”がリリースされました。



◆20 世紀における飛行史の通覧ー飛行技術の商業・軍事面への応用

20 世紀初頭、ライト兄弟による史上初の有人飛行が成功すると、アメリカでは飛行技術を商業、軍事面に応用する試みが始まります。商業においては、航空郵便事業、旅客サービス事業が成長します。軍事面では第一次大戦への参戦を契機に軍用機の生産が本格的に始まり、軍隊内部でも航空部隊の規模が拡大します。民間航空と軍用航空の発展により、1930 年代には米国航空史上の黄金時代が到来します。政府が航空分野へ巨額の投資を行ったことにより、航空産業は 20 世紀の技術革新を牽引していきます。本アーカイブは、スミソニアン学術協会が所蔵する一次資料を通して、熱気球、飛行船の時代から 20 世紀の飛行機の時代に至る飛行の歴史を通覧するものです。

◆20 世紀航空史の一大写真コレクション

本アーカイブの収録資料は、飛行設計図、書簡、日記、政府の省庁の報告書、航空団体の定期刊行物、航空力学の学術雑誌、新聞記事、写真など広範囲に及びます。とりわけ写真の収録点数は多く、一枚物の写真、アルバム、さらに定期刊行物や書籍に掲載された写真を通して、20 世紀の航空史を形成した歴代の飛行船、商用機、軍用機、飛行場、操縦士などを目にすることができます。

◆収録資料はアメリカを中心に、ヨーロッパ、ロシア、日本まで広くカバー

対象となる国はアメリカが中心ですが、イギリス、ドイツ、フランス、ロシア等ヨーロッパの事例も収録されています。さらに、挿絵入りで気球を取り上げた明治時代の日本の出版物や、東京帝国大学航空研究所の報告など、日本で発行された資料も収録されています。

★本データベースの収録資料はすべて、スミソニアン学術協会航空・宇宙博物館附属図書館に所蔵されている資料です。

Smithsonian Collections Online の“Air & Space and Smithsonian Magazine”については、KINOLINE 誌 [vol. 35 no. 3](#) を、“World’s Fairs and Expositions: Visions of Tomorrow”については同 [vol. 35 no. 5](#) を、“Trade Literature and Merchandizing of Industry”については同 [vol. 35 no. 6](#) をご参照ください。

◆African Americans in Aviation

(航空史におけるアフリカ系アメリカ人)

◆ 年代:1920-1990

◆ 言語:英語

<収録サブコレクション>

✓ Benjamin O. Davis, Jr. Collection

✓ Black Wings Exhibit and Book Collection

✓ William J. Powell Collection



◆Air Commerce Bulletins, 1929-1939(航空通商公報)

◆ 年代:1929-1939

◆ 言語:英語



本コレクションは、米国政府の航空業界への情報発信、規制行政の役割を記録する貴重な一次資料です。

1920年代末、操縦士や航空事業者向けに最新の規制や業界情報を一元的に提供することを目的として、米国連邦省庁(商務省航空局、航空通商局、民間航空委員会)が航空通商公報(Air Commerce Bulletin)の発行を始めました。航空産業が新興産業だったこの時代、安全基準、政府の監督行政の変更、航空事故の報告など、業界の人々に広く情報を提供しました。民間操縦士が業務を行なう上で欠かせない技術情報を、グラフや図版入りで掲載しているのも特徴的です。

◆The Bella C. Landauer Collection of Aeronautical Sheet Music(ベラ・クララ・ランダウアー航空音楽楽譜コレクション)

◆ 年代:1820-1940

◆ 言語:英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、フィンランド語、ハンガリー語、イタリア語、スペイン語

ベラ・クララ・ランダウアーは商業印刷や商業広告、大衆文化に関する独学の歴史家であり、一枚刷りの楽譜の蒐集家としても有名です。息子が操縦士になったのを契機に、飛行に関する音楽の楽譜に興味を持つようになり、飛行に関する史上初の音楽として知られるモンゴルフィエ兄弟の熱気球を主題にした歌の楽譜など、多くの楽譜を収集しました。

本コレクションに収録される 1,000 枚を超える楽譜は、航空が大衆文化や音楽、グラフィックアートの世界に及ぼした影響を垣間見せてくれます。

◆Bulletin of Information(情報公報)

◆ 年代:1924-1939

◆ 言語:英語

本コレクションは 1919 年のパリ国際航空条約の締結を受けて 1922 年に設立された国際航空委員会の公報を収録します。公報は週刊で、航空業界に対して、規制と技術に関する情報や、37 の条約批准国の規制、航空機の登録状況、空港の開港と閉港、国別飛行状況の通知等の情報を提供しました。批准国における航空関係の新省庁の設立、新しい条約批准国も、公報上で告知されました。新たに認定された操縦士の名前、都市間の運行スケジュール、照明灯の装備状況や安全な着陸を左右する飛行場の草刈り作業の進捗状況など、掲載された情報は詳細かつ多岐にわたります。本コレクションは、ヨーロッパからアジア、アフリカ、南アフリカの各地域の航空産業の実態を明らかにします。

◆Collections related to Aeronautical Exhibitions and Races (飛行レース・曲技飛行関係コレクション)

- 年代:1811-1987
- 言語:英語

飛行レースと曲技飛行は、飛行機のデザイン、エンジンの性能、構造、操縦士の忍耐力を試す場、性能の良い航空機を開発する素地となりました。また、飛行レースと曲芸飛行は、飛行機の研究開発と生産のための資金調達の間でもありました。大衆的ヒーローも生まれ、航空ファンの裾野が広がりました。

本コレクションは、新聞記事、航空日誌、写真を通じて、飛行レースと曲技飛行の歴史とこれらに参加した操縦士やプロモーションを行なった人物や飛行機に新しい光を当てます。

<収録サブコレクション>

- ✓ Bendix Air Races Collection, 1931-1982
- ✓ Bowman Family Papers, 1923-1987 (bulk 1923-1950)
- ✓ Clifford W. Henderson Papers
- ✓ Cyrus Bettis Collection 1924-1926
- ✓ James Vernon Martin Papers, 1885-1956
- ✓ James V. Martin Scrapbook, 1910-1956 (bulk 1910-1916)
- ✓ Moisant Family Scrapbooks, 1910-1912
- ✓ National Air Races Scrapbooks 1928-1933
- ✓ Paul Studenski Collection, 1887-1961
- ✓ Weldon B. Cooke Collection, 1911-1948 (bulk 1911-1914)
- ✓ Wiley Post Scrapbooks



ニュース用に初めて飛行機から撮影された写真(プリンストン大がハーバード大を破ったサッカーの試合、1912年)

◆Collections related to Aeronautics (航空工学関係コレクション)

- 年代:1784-2003
- 言語:英語、フランス語、ロシア語

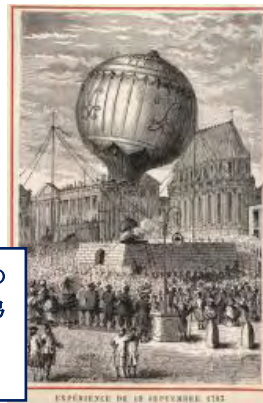
科学としての航空工学の歴史に光を当てる以下のサブコレクションを収録します。

- (1) 気球、飛行船、グライダー、飛行機を描いた図版や写真、飛行と飛行機の機体やエンジンに関する初期のイメージを伝える図版、空から撮影された初期の写真。
- (2) 20世紀を通じて飛行機の機体やエンジンや機体制御の改善に貢献したエンジニアの文書。
第一次世界大戦時に双発爆撃機と4発爆撃機を開発したA.フランシス・アルシエ(A. Francis Arcier)、ライト航空会社のために実験製造を統括したエンジニアであるエリック・プリース(Eric Preece)、機体制御のための蛍光塗料を開発したウィリアム・ハマー(William J. Hammer)、MITの航空学部を統括したジェローム・クラーク・ハンサカー(Jerome Clarke Hunsaker)など。
- (3) パイロットのコレクション。

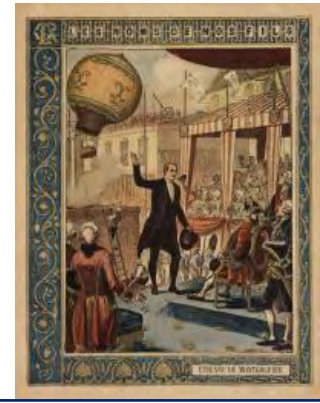
初めて航空便の輸送に携わり、第二次世界大戦中に大西洋上で爆撃機の輸送を行なったアルヴァ・ディガーモ(Alva R. DeGarmo)のコレクション、1930年代の北極横断飛行を記録するロシア航空コレクション、第一次世界大戦中に第24航空大隊へ参加し、戦後はテスト操縦士時代を経て、民間パイロットになったドワイト・ジマーリー(Dwight S. "Barney" Zimmerley)のコレクション等。

<収録サブコレクション>

- ✓ Alva R. DeGarmo Collection, 1916-1986
- ✓ Charles Arens Scrapbooks, 1911-1960
- ✓ Dwight S. "Barney" Zimmerley Collection 1930s
- ✓ Early Aeronautical News Clippings (Alexander Graham Bell) Collection, 1906-1911
- ✓ E. D. "Hud" Weeks Collection, 1907-1981
- ✓ Ernest Jones Aeronautical Collection, 1906-1937
- ✓ Francis Arcier Collection, 1890-1969
- ✓ Georges Naudet Collection
- ✓ Harold E. Morehouse Flying Pioneers Biographies Collection
- ✓ James Means Collection, 1892-1913
- ✓ Jerome Clarke Hunsaker Papers, 1916-1969
- ✓ Louis Gathmann Collection
- ✓ Mary E. "Mother" Tusch Collection
- ✓ Russian Aeronautical Collection 1880s - 1990s
- ✓ Samuel P. Langley Collection, 1891-1914
- ✓ Shakir S. Jerwan Scrapbooks, 1911-1919
- ✓ William J. Hammer Collection, 1881-1934



1785年9月19日の
モンゴルフィエ兄弟
による熱気球の公
開飛行実験



エチエンヌ・ド・モンゴルフィエ

◆Collections related to Aircraft (飛行機関係コレクション)

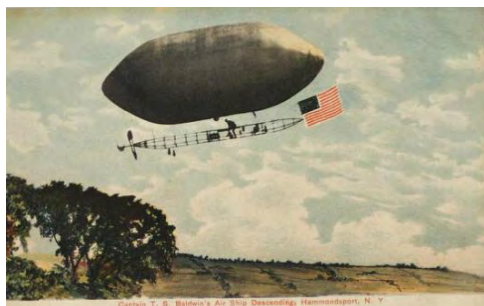
- ◆ 年代: 1892-1997
- ◆ 言語: 英語、ドイツ語

航空機の技術発展の足跡を記録する写真コレクションです。二人の著名な航空写真家、ハンス・グレンホーフ(Hans Groenhoff)とルディ・アーノルド(Rudy Arnold)の写真コレクション約 1,200 枚が収録されています。さらに、初期の航空機の写真も収録されています。"Bleriot Parasol", "Nieuport 27", "British airship R-34"等の写真を収録するジョン・ギュー・ジルパトリック(John Guy Gilpatrick)のスクラップブック、"Curtiss NC-4"を大きく取り上げるアルバート・リード提督(Admiral Albert C. "Putty" Read)のコレクション、飛行艇"Rohrbach Ro II Roche"のテスト操縦士で、その写真を収集したヴェルナー・ラントマン(Werner Landmann)のコレクション、"Klemm-Daimler L-20"や"Junkers W-33 monoplane"の写真を収録するアルベルト・ゼイペルト(Albert Willibarld Seypelt)のコレクションの中に初期の飛行機の写真が多数見られます。

<収録サブコレクション>

- ✓ Admiral Albert C. Read, USN Collection, 1919
- ✓ Albert Willibarld Seypelt Collection, 1892-1941
- ✓ Alexander de Seversky Russian Photograph Album 1912-1915
- ✓ Cal Rodgers and the Vin Fiz: the First Transcontinental Flight Collection
- ✓ Curtiss-Wright Photography [Tucker], [ca. 1930s-1940s]

- ✓ Fred Howard Vin Fiz Special Papers 1911
- ✓ Gerard Post Herrick Papers
- ✓ Glenn Curtiss Early Aviation Photography Collection 1907-1920
- ✓ Hans Groenhoff Photographic Collection
- ✓ Roger B. Whitman Early Aviation Photograph Collection, 1909-1911
- ✓ Roosevelt Field Photograph Collection, [ca. 1930s]
- ✓ Werner Landmann Rohrbach Ro II Photo Album 1923-1924
- ✓ William H. Sheahan Early Aviation Photographs, 1912-1921 (bulk 1912-1915)
- ✓ Wright Brothers Collection, 1909-1937



◆Collections related to Balloons and Airships (気球・飛行船関係コレクション)

- ◆ 年代: 1826-1998
- ◆ 言語: 英語、フランス語、ドイツ語、日本語

1783 年 11 月 21 日、モンゴルフィエ兄弟がパリ上空で熱気球の有人飛行に成功、10 日後にはジャック・シャルルとロベール兄弟が同じくパリで有人ガス気球の飛行に成功しました。以後、時代は気球や飛行船を使ったガス飛行の実験時代に入ります。これらの実験は冒険、探検、通商、気象観測に刺激を与え、南北戦争や 20 世紀の世界大戦の帰趨にも影響を与えることになります。

本コレクションはガス飛行の歴史の重要な局面を記録する文字資料、写真、ポスターを収録します。飛行船を発明し、

開発を重ねたアメリカ人 A. Roy Knabenshue、南北戦争時の北軍気球司令部で操縦士を統括したタデウス・ロー(Thaddeus S.C. Lowe)、米軍の気球操縦士ドナルド・カスカート(Donald G. Cathcart)、気象学者で気球飛行の専門家カール・マイヤーズ(Carl Myers)、ジャーナリストで探検家のウォルター・ウェルマン(Walter Wellman)、米国海軍の飛行船母艦で任務を行なったジョージ・ヘンリー・ミルズ(George Henry Mills)らのコレクション、ドイツの飛行船ヒンデンブルク号を記念したコレクション、飛行船による極地探検を記録したコレクション、南北戦争、ボーア戦争、日露戦争、第一次大戦のときに使われた気球の写真を収めるコレクションが収録されています。

<収録サブコレクション>

- ✓ Aaron a. Sargent 1883 Designs for Aerial Ship, 1883
- ✓ Carl Myers Balloon Farm Collection
- ✓ Donald G. Cathcart Ballooning Collection, 1932-1965
- ✓ Early Ballooning Prints
- ✓ George Henry Mills Collection
- ✓ German Commercial Zeppelins of the 1930s
- ✓ Hindenburg Memorabilia Collection
- ✓ Japanese WWII Balloon Bombs Collection
- ✓ John and Charles Wise Ballooning Collection
- ✓ Krainik Ballooning Collection, 1859-1934
- ✓ Roy Knabenshue Collection
- ✓ Rufus Porter Collection
- ✓ Salomon a. Andree 1896 Polar Expedition Collection, 1896
- ✓ Thaddeus S. C. Lowe Family Photographs Collection 1862-1895
- ✓ Thomas G. W. "Tex" Settle Collection 1932-1998
- ✓ Walter and Arthur Wellman Collection 1894-1934
- ✓ ZRS-4 Ring Laying Commemorative Book, 1929



◆Collections related to Commercial Aeronautics (商用航空関係コレクション)

✓ 年代:1896-2010

✓ 言語:英語

本コレクションは、アメリカの商業航空史関連の資料を収録、航空会社の発展と商業航空の発展に尽力した人物に焦点を当てます。航空郵便の輸送から旅客輸送サービスへ移行し、政府の支援と規制の中で成長した時代を経て、1978年の規制撤廃による業界の変化に至るまでの過程が明らかにされます。ナショナル・エア・トランスポートやトランスナショナル・エア・トランスポートなどの初期の航空会社、アメリカン・エアライン、パン・アメリカン・エアウェー、ニューヨーク・エアウェーなどの旅客サービスを行なった航空会社などが取り上げられています。グレン・カーチス(Glenn H. Curtiss)、ジュゼッペ・ベランカ(Giuseppe M. Bellanca)、エルバート・プロクター(Elbert W. Proctor)、エルトン・ロス・シリマン(Elton Ross Silliman)、モートン・ベイヤー(Morton S. Beyer)らの個人文書は、第一次世界大戦後に劇的に成長し、多くの革新を生み出した航空産業、航空産業と政府の相互関係、業界の要人が果たした役割を活写しています。

<収録サブコレクション>

✓ Airline Ephemera Collection [Pullman], 1928-1956 (bulk [ca. 1930s-1940s])

✓ American and Canadian Airlines Memorabilia

✓ Arnold Egeland Airlines Collection

✓ Basil Lee Rowe Collection, 1917-1973 (bulk 1930-1968)

✓ Captain Michael Gitt Papers 1930s-1970s

✓ Clement Melville Keys Papers

✓ Dr. Arthur Nutt Papers, 1915-1945

✓ Edgar S. Gorrell Collection

✓ Elbert W. Proctor Collection, 1920-1963

✓ Elton Ross Silliman Papers, 1930-1982

✓ Giuseppe M. Bellanca Collection

✓ Glenn H. Curtiss Collection

✓ Jack McRae Aviation Photography Collection, [ca. 1920s-1930s]

✓ John Miller Collection, 1910-1973

✓ Joseph D. Mountain Collection

✓ K. S. "Slim" Lindsay Collection, 1912-1953 (bulk 1929-1937)

✓ Lester D. Seymour Collection, 1928-1934

✓ Morten S. Beyer Papers 1940s - 1990s

✓ National Air Transport Collection [Hutchinson], 1927-1937

✓ New York Airways Collection, 1929-1971 (bulk 1952-1969)

✓ Republic Feeder Airlines Collection, 1945-1983

✓ Seaboard & Western Airlines Collection [Hill]

✓ South American Aviation Travel Scrapbooks, 1939, 1946

✓ Transcontinental Air Transport (TAT), Inc. Air-Rail Service Scrapbook, 1929

✓ Transcontinental Air Transport (TAT), Inc. Collection [Scheaffer] 1928-1952



◆Collections related to Military Aeronautics(軍用航空関係コレクション)

- ◆ 年代:1862-1991
- ◆ 言語:英語、ロシア語

南北戦争中、北軍の船舶に爆撃弾を落とすために設計された蒸気式ヘリコプターの小型模型の製図と写真、ライト兄弟が陸軍の委託で製造したミリタリー・フライヤー号の試験飛行の写真、米軍の委託を受けてトマス・デウィット・ミリング(Thomas DeWitt Milling)が 1912 年に行なった航空機による砲火の研究、1913 年の耐久飛行により実現した史上初の軍用地図の制作、第一次大戦の前線の写真、米陸軍による 1924 年の世界一周飛行の写真、防空体制の不備を理由に陸軍と海軍を批判して軍法会議にかけられたウィリアム・ミッチェル(William "Billy" Mitchell)の裁判関係記事、第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争、湾岸戦争でのパイロットと武官の文書や写真など、軍用航空の歴史を一覧できる資料と写真が多数収録されています。

<収録サブコレクション>

- ✓ Charles Ingram Stanton, Sr., Papers, 1917-1977
- ✓ Desert Shield and Desert Storm Collection
- ✓ Francis Gary Powers Collection
- ✓ Robert S. Sanford Collection 1917-1970
- ✓ Thomas DeWitt Milling Collection, 1905-1940
- ✓ U.S. Army around the World Flight Collection, 1920-1925
- ✓ William Mitchell Trial Scrapbooks, 1925-1926



ウィリアム・ミッチェルの軍法会議の記事



朝鮮戦争時の写真(上4枚)とベトナム戦争時の写真(下4枚)

◆Correspondence of Octave Chanute (オクターヴ・シャヌート書簡集)

- ◆ 年代: 1888-1910
- ◆ 言語: 英語

オクターヴ・シャヌートは土木技師を引退後、趣味の航空技術にのめりこみ、アマチュア航空技師として飛行機や部品の特許を獲得するまでになりました。シャヌートは 1890 年代から亡くなる 1910 年まで、世界の愛好家や科学者と文通し、最新の航空技術に関する意見交換を行ないました。1894 年、『飛行機の進歩(Progress in Flying Machines)』を出版したシャヌートは、一躍愛好家の間で一目置かれるようになります。本コレクションは航空愛好家や専門家と交わした書簡や電信を収録します。シャヌート宛の書簡には、シャヌートの著作に対する感想や編集者からのフィードバックが収録されています。

複葉機の発明につながる研究を行なったイギリス人技師フランシス・ウェナム(F.H. Wenham)との文通は 1890 年代に始まります。書簡の内容は、実験結果を共有し、各自の著作の説明を試みるきわめて技術的なものです。シャヌートは、航空術や飛行に関する著作のあるドイツ人武官 ヘルマン・メーデベック(Hermann W.L. Moedebeck)とも頻繁に文通を行ないました。書簡を読むと、シャヌートがライト兄弟の飛行実験を観察していたことも分かります。ライト兄弟の有人飛行が成功した後にシャヌートが送った書簡からは、この快挙を同時代の人々がどのように受け止めていたのかが明らかにになります。

◆National Aeronautical Association Archives (全米航空協会アーカイブ)

- ◆ 年代: 1918-1976
- ◆ 言語: 英語

アメリカにおける航空の発展を促進する私的団体、全米航空協会は、軍や産業における航空の比重が高まるにつれ、それまで娯楽と見なされていた航空に対する一般のイメージを変え、パイロットの免許発行等を通じて業界の高度専門化に貢献しました。

本コレクションは、協会の一般向け広報、学生クラブ、各種イベントに関する書簡、刊行物、写真、報告、手書き文書等を収録します。収録されている報告書の中で一般的なものは、協会が主催した飛行レースに関するものです。1952 年に開催された第 6 回女子大陸横断飛行レースに関する報告書は、公式プログラム、飛行ルート地図を含む刊行物、競技参加者の職歴、広告のほか、競技の運営要項、競技規則、パイロットの資格、飛行機の仕様、懸賞金など協会の内部資料も収録しています。

<収録サブコレクション>

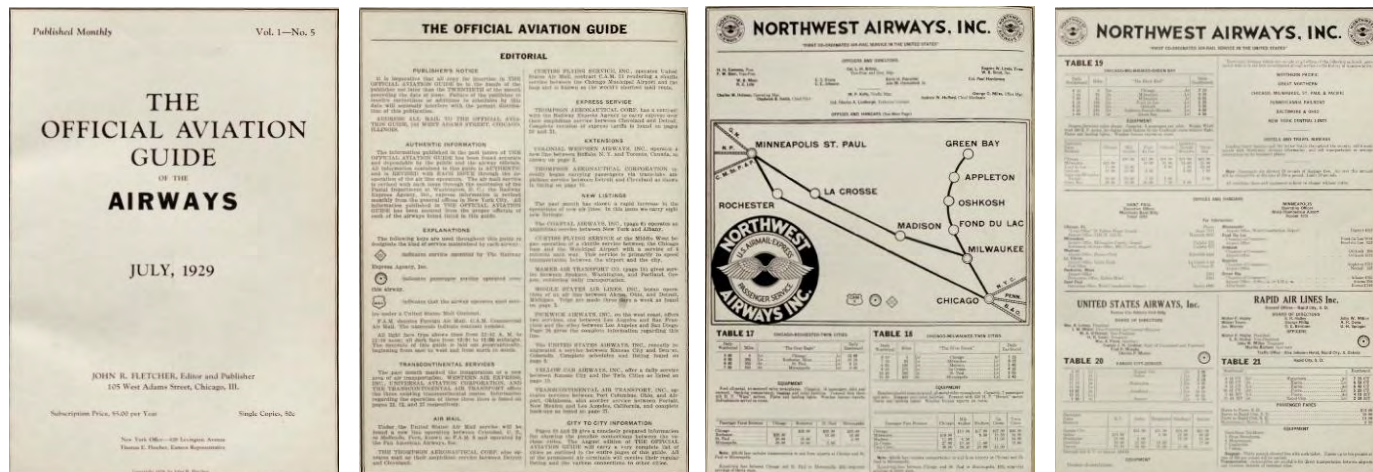
- ✓ Series 1: Licenses & Registrations, 1925-1971
- ✓ Series 2: Woman's Races & Events, 1950-1971
- ✓ Series 3: Events, Races & Awards, 1916-1995
- ✓ Series 4: Attempted & Sanctioned Records, 1922-1981
- ✓ Series 5: Administrative Records, 1920-1980
- ✓ Series 6: Newsletters, Bulletins & Magazines of the FAI & NAA, 1914-1963

◆Official Guide of the Airways

- ◆ 年代: 1929 and 1939
- ◆ 言語: 英語

1929年2月に発行が始まった月刊誌『Official Aviation Guide of the Airways』はアメリカ商業航空の歴史を記録する画期的な資料です。航空業界は、1920年代の胎動期を経て、1920年代末には近代的な飛行機や洗練された操縦術が登場し、航空業界は一変します。航空便の輸送で信頼を獲得した航空業界は、旅客サービスでも成功をおさめ、1926年の時点で年間6千人以下だった旅客者は3年後の1929年には年間7万人を超えるまでになりました。

本ガイドは各号およそ40ページ、時刻表、運賃、航路地図、航空便の解説などで構成されています。



◆Reports and Papers of the Civil Aeronautics Board/Civil Aeronautics Board Authority

(民間航空公団・民間航空委員会の報告書と文書)

- 年代:1938-1941
- 言語:英語

米国の民間航空は20世紀の戦間期に誕生し、成長軌道に乗ります。連邦政府は、1925年に航空郵便法を制定、また、商務省航空局が民間航空産業の監督・運営に責任を負うなど、商業航空とインフラの整備に決定的な役割を担い、商業航空発展の基礎を築きました。1930年代半ばになると、航空郵便事業の契約に関わる汚職の疑いや航空事故の多発を受け、民間航空公団(Civil Aeronautics Authority)が設置され、連邦政府の航空監督行政を一元的に担うことになりました。その後、ルーズベルト大統領の下で、航空業界の監督、許認可業務、安全規制の運用、航空路の整備に責任を負う民間航空局(Civil Aviation Administration)と安全規制の法制化、事故調査、航空運賃の規制に責任を負う民間航空委員会(Civil Aeronautics Board)に分割され、連邦政府の航空行政は第二期に入ります。

本コレクションには、民間航空公団・民間航空委員会の下で生み出された資料群が収録されています。民間航空公団・民間航空委員会へ送られた、運賃の値上げ、航空規則の改定、事故調査の報告に関する書簡を受けて、報道機関向けに発表されたプレスリリース、郵便貨物の量、航空便の数、航空ルート、飛行距離など、航空会社が提供するデータの分析に基づき運賃や航空規則を決定した際の分析資料が収録されています。

◆Reports and Papers of the National Advisory Committee for Aeronautics (米国航空諮問委員会の報告書と文書)

- 年代:1917-1940
- 言語:英語

本コレクションは、航空工学の研究を行なう連邦機関、米国航空諮問委員会(NACA)の年次報告書(1917年から1940年までに発行された24年分)を収録します。NACAは、解散しNASAに業務が移管される1958年まで、米国の商業航空と軍用航空の発展をリードしました。

NACAは1915年、航空工学の研究と連邦政府への諮問を目的として設立されました。1920年にはラングリー記念航

空工学研究所が完成、優秀な技術者を集めました。1920 年代前半には議会での法整備に影響力を及ぼすことを試みましたが、1920 年代半ば以後は研究活動に専念、商用・軍用を問わず多くの委託研究に従事しました。初期の時代に行なった研究の中には、風の抵抗、気流、ジェット推進力、エンジン構造に関する重要な研究が含まれますが、これらの研究はすべて年次報告書に報告されています。飛行試験の指針と運用手続を定めたのも NACA です。1929 年には、エンジンカバーを開発し、抗力による速度減を減らし、エンジンの冷却を改善した功績により、コリアー賞を受賞しています。1930 年代の研究は、対気速度、除氷装置、翼やプロペラのデザインなど、商用・軍用を問わず、応用研究に従事しましたが、戦争が近づくと、操縦しやすさや高度上空での操縦といった軍用目的の研究が重きを置くようになりました。

年次報告書は、大統領の書簡、委員長による前年の活動報告、委員会のメンバー名と研究を監督する技術委員会の名前、予算申請を伴う活動計画、技術委員会の活動報告から構成されています。その年に完成したテクニカルレポートも添付されました。

◆ Samuel P. Langley Papers (サミュエル・ラングレー文書)

- 年代: 1867-1906
- 言語: 英語

本コレクションは、天体物理学者、航空工学のパイオニアであり、スミソニアン学会の会長も務めたサミュエル・ラングレー(1834-1906)による初の有人動力飛行機製作の試みを記録するものです。1890 年代、ラングレーは自力で推進する一連の小型飛行機のモデルを設計、エアロドローームと名付けました。陸軍省の資金を得たラングレーは、飛行用として初の放射状エンジンを設計し、有人の大型エアロドローームを製作、飛行実験を行いました。ラングレーは、1903 年の 10 月と 11 月にポトマック川でエアロドローームの飛行実験を行ないましたが、いずれも失敗に終わりました。ライト兄弟が初の有人飛行に成功を収めたのは、ラングレーの最後の実験の 9 日後のことでした。

エアロドローームのスケッチ、計算式、デザインの覚書、飛行記録、部品や飛行機本体の製造業者らとの書簡など、本コレクションの収録資料は、有人飛行実験の草創期に航空工学の研究に携わった人々が費やした時間とコスト、注ぎ込んだ情熱を生き生きと伝えています。

本コレクションには、天体物理学者やスミソニアン協会会長としてのラングレーの職歴に関わる資料も収録されています。天体物理学者としてのラングレーは、放射線測定機器であるボロメータの発明など、太陽の研究で最も有名です。スミソニアン学会会長としての資料には、日記、資料収集に関する書簡、旅費のリストのほか、ラングレーの飛行実験の支援者で友人でもあったアレクサンダー・グラハム・ベルからの書簡も収録されます。

◆ Selected National Air and Space Museum Library Periodicals

(スミソニアン学会航空・宇宙博物館附属図書館所蔵定期刊行物集成)

- 年代: 1888-1939
- 言語: 英語、フランス語、ロシア語、ドイツ語、オランダ語、イタリア語、スペイン語

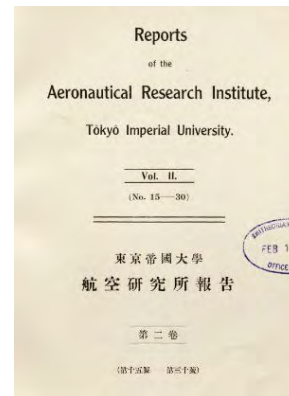
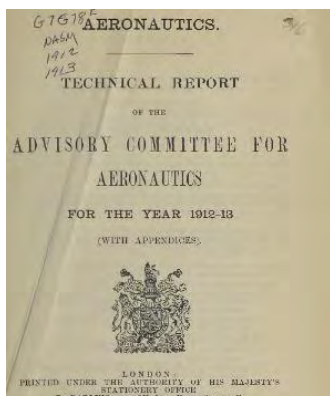
本コレクションは、19 世紀後半から 20 世紀前半にかけてアメリカ、ヨーロッパ、ロシア、日本で発行された航空学の定期刊行物と航空クラブの報告書を収録します。航空郵便、旅客サービス、航空産業、商用機と軍用機の設計と生産、第一次大戦時の軍用飛行機、飛行レースなどに関する記事を収録するほか、広告や写真も多数収められています。

最初期の刊行物である 1866 年創立のイギリス航空協会(Aeronautical Society of Great Britain)の年次報告書、王立飛行クラブ(Royal Aero Club)により 1909 年に創刊された、初期の短命雑誌を除けば航空学史上初の雑誌と言える『フライト(Flight)』、『航空学(Aeronautics)』など、20 世紀イギリスにおける航空学の足跡を記録する雑誌や英国航空工学委

員会(Aeronautical Research Committee)のテクニカルレポートも収録されています。

アメリカの定期刊行物では、オクターヴ・シャヌートやサミュエル・ラングレーら、航空工学のパイオニアたちの論文を収録する『航空学年報(Aeronautical Annual)』、アメリカ飛行クラブ(Aero Club of America)の年次報告書、雑誌『飛行(Flying)』、一般読者向け雑誌の『飛行時代ウィークリー(Aerial Age Weekly)』、『航空学(Aviation)』を収録します。前者は写真やカートゥーンを多用し、読みやすさを追求したのに対して、後者は主に技術的な記事を掲載しています。

- ◆ Aerial Age
- ◆ Aerial Age Weekly
- ◆ Aero Club of America Bulletin
- ◆ Aero World
- ◆ Aeronautical Digest
- ◆ Aeronautics (London)
- ◆ Aeronautics (New York)
- ◆ Air Service Bulletin
- ◆ Air Service Journal
- ◆ Air Service News Letter
- ◆ Air Travel
- ◆ American Engineer and Railroad Journal
- ◆ The Arcadian Observer
- ◆ Aviation
- ◆ Boletín del Aero Club de Chile
- ◆ Bollettino Della Società Aeronautica Italiana
- ◆ The Bulletin of the Airplane Engineering Department U. S. A.
- ◆ The Bulletin of the Experimental Department Airplane Engineering Division U. S. A.
- ◆ Bulletins of the Aerial Experiment Association
- ◆ The Curtiss Flyleaf
- ◆ Department of Commerce
- ◆ Department of Commerce Aeronautics Branch Domestic Air News
- ◆ Deutsche Luftfahrer Zeitschrift
- ◆ Flight
- ◆ Fly
- ◆ Flying (London)
- ◆ Flying (New York)
- ◆ Het Vliegveld
- ◆ L'Aéronaute
- ◆ L'Aéronautique
- ◆ L'Aérophile
- ◆ L'Ala D'Italia
- ◆ La Guerre Aérienne Illustrée
- ◆ La Technique Aéronautique
- ◆ National Aeronautic Association Review
- ◆ Revue de L'Aéronautique Théorique et Appliquée
- ◆ Rivista Tecnica di Aeronautica e Bollettino della Società Aeronautica Italiana
- ◆ The Slipstream
- ◆ U.S. Navy Bureau of Aeronautics News Letter
- ◆ Zeitschrift des Deutschen Vereins zur Förderung der Luftschiffahrt



◆U.S. Air Services

- ◆ 年代:1919-1939
- ◆ 言語:英語

本コレクションは”Air Service Clubs’ Association”の公式機関誌として 1919 年 2 月に航空部隊共済会(Air Service Clubs’ Association)により創刊された雑誌”U.S. Air Service”(後に”U.S. Air Services”)を創刊号から 1939 年まで収録します。本誌が創刊された 1919 年は、航空部隊の隊員として第一次大戦に従軍した退役軍人らによる空軍創設キャンペーンが始まった、アメリカ空軍史上重要な年です。航空部隊共済会には、現役と退役を問わず、航空部隊の隊員や、航空部隊と関係の深かった省庁で要職に就いていた人が参加できました。その活動範囲には科学が平和に応用される領域と定められています。第一次大戦直後から第二次大戦開戦前夜までの航空業界と航空学の実情が、軍用・商用航空の専門家により詳らかにされています。

◆Women in Aviation

- ◆ 年代: 1906-2000
- ◆ 言語: 英語
- ✓ Betty Skelton Collection
- ✓ Blanche Stuart Scott Collection, 1935-1969
- ✓ Cecil "Teddy" Kenyon Photograph Collection,
- ✓ Hattie Meyers Junkin Papers
- ✓ Lee Ya-Ching Papers 1938-1970
- ✓ Louise McPhetridge Thaden Collection
- ✓ Manila Davis Talley Scrapbook 1917-1967
- ✓ Mary Billy Cline Quinn Collection
- ✓ Mary Charles Collection 1931-1965 (bulk 1931-1937)
- ✓ Ninety-Nines, Inc. History Books Collection
- ✓ Rubye Berau Collection
- ✓ United States Women in Aviation through World War I Collection
- ✓ U.S. Women in Aviation, 1940-1985 Research Materials
- ✓ Velma Maul Tanzer Scrapbook 1933-1983
- ✓ WASPs Binder: Pictures of Life and Training of the Women's Air Force Service Pilots, 1942-1944



◆World War I Collections

- ◆ 年代: 1908-1989
- ◆ 言語: 英語、ドイツ語
- ✓ Alfred and Willy Stupe World War I Album
- ✓ Arthur Raymond Brooks Collection
- ✓ Captain Walter J. Seaborn World War I Collection 1917-1919
- ✓ Dezső Becker World War I Photo Albums
- ✓ German World War I Photographs
- ✓ James W. Brody Collection, 1918-1919
- ✓ John Wallis Bishop Collection
- ✓ Leslie a. A. Benson Collection
- ✓ Theodore E. Boyd World War I Collection
- ✓ World War 1 German Aviation Photographs
- ✓ World War I 14th Balloon Photo Section Scrapbook [Heveran]
- ✓ World War I Exhibit Collection

◆World War II Collections

- ◆ 年代:1903-2000
- ◆ 言語:英語、ドイツ語

- ✓ Albert K. McCutcheon Collection
- ✓ Captured German Aeronautical Documents (CGD) Microfilm, 1914-1946
- ✓ Captured German Technical Documents (Technical Intelligence Center Film), 1914-1946
- ✓ German World War II Ace Collection
- ✓ Harold Raskin World War II Diary
- ✓ H. H. Ashley Papers 1919-1949
- ✓ James H. Doolittle Scrapbooks, 1903-1969
- ✓ John a. Meyer World War II Diaries



ジェームズ・ドゥーリトルが日本を空襲
したときの写真とカートゥーン



掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヵ月の無料トライアルを受け付けております。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課（電話：03-6910-0518、ファクス：03-6420-1359、e-mail：online@kinokuniya.co.jp）までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。